

## 株式会社パル技研 職能要件書

### (1) グレード体系図

グレード		ライン監督職	専門職	専任職
M(マネジメント)	6等級	部長	主幹技師	参事
	5等級	課長	主席技師	副参事
S(シニア)	4等級	係長	主任技師	主事
	3等級	主任	技師	主任
	2等級			
J(ジュニア)	1等級			

### (2) グレードガイドライン

グレード	ポイント	ガイドライン
M(マネジメント)	コア人材	経営リソースを駆使して部門単位の業績をあげる責任を負うマネジメント層 もしくはその人自身が付加価値の源泉である高度専門職
S(シニア)	一人前	いわゆる一人前。非定型的な応用問題もこなせるレベルの社員群 第一線のグループを取りまとめるクラスもここに位置する。
J(ジュニア)	技能習得	定型的な業務の正確かつ迅速な遂行を期待成果とする社員群 もしくはSグレード手前の技能習得中の社員群

(3) 役職ガイドライン

ライン監督職	ガイドライン
	部下を指導統率しながら、組織目標を達成し、経営に寄与する職務を遂行する職位
部長	会社の方針に基づき、その部門方針を、グローバルな視点と長期的戦略をもって立案し、組織運営を確実に行う。短期は、迅速な戦術・実行計画変更を指揮し目標を達成する。複雑な経営課題に関して長期的な利益を考慮して迅速に決断し遂行する。 人材育成、人事管理など部門運営全般を管理・監督する。
課長	課の責任者であり、部門方針に沿って多角的で幅広い視点から効果的な中長期の業務計画を策定し、現場業務を管理・監督し、円滑に進め、計画を達成する。 課内の中短期的な部下の教育・指導計画を立てて実施する。
係長	係の責任者であり、専門分野において複雑・困難な業務を単独もしくは部下を指導しながら遂行し、課題解決を確実に行う。 日常の業務運営について実質的な責任を有する。
主任	係の分担業務の責任者であり、業務運営の具体的計画を立てて部下を指導しながら遂行し、課題解決を行う。 分担業務の日常運営について実質的な責任を有する。

専門職	ガイドライン
	ライン監督職に比べ専門能力が高く、原則として単独で、専門知識、技能などを発揮して経営に寄与する職務を遂行する職位
主幹技師	会社の方針に基づき、部門技術方針の立案・検討について責任を持つ。重要技術開発業務における専門スタッフとして業界をリードする高度な専門的スキル・知識を有し、重要技術の調査研究・開発・調整等を行い、業務を遂行する。 会社の将来像に合った技術人材の育成・指導計画を立てて実施する。
主席技師	開発業務における専門スタッフとして業界に通じる高度な専門的スキル・知識を有し、専門的事項についての調査研究・調整等を行い、業務を遂行する。 専門技術人材の育成・指導計画を立てて実施する。
主任技師	開発業務における専門スタッフとして社内における専門的スキル・知識の第一人者として、専門的事項についての調査研究・開発・調整等を行い、業務を遂行する。 技能的、専門的内容を中心に部下の育成・指導計画を立てて実施する。
技師	開発業務における専門スタッフとして部署における専門的スキル・知識の第一人者として、専門的事項についての調査研究・開発・調整等を行い、業務を遂行する。

ガイドライン	
専任職	ライン監督職と同等以上のスキルを持ち、原則として単独で、経営に寄与する職務を遂行する職位
参事	会社の方針に基づき、その部門方針の立案・検討・決定について組織責任者を補佐し、任された業務において高度なマネジメントを遂行し、計画を達成する。 人材育成、人事管理など部門運営全般を補佐し実施する。
副参事	ライン監督職を補佐し、部門方針に沿って、任された現場業務を、円滑に進め、計画を達成する。 部門内の中短期的な部下の教育・指導計画を補佐し立案、実施する。
主事	ライン監督職を補佐し、任された専門分野において単独で、複雑・困難な業務を遂行し、課題解決を確実に行う。 日常の業務運営について任された業務の実質的な責任を有する。
主任	ライン監督職を補佐し、単独で複雑・困難な業務を遂行し、課題解決を行う。 日常の業務運営について任された業務の実質的な責任を有する。

ガイドライン	
2等級	目標や期限を考慮して具体的計画を自ら立案して計画に沿って遂行する事の出来るいわゆる一人前。非定型的な応用問題もこなせるレベルの社員